

Cisco 11500 Content Services Switch HTTP 要求脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20060405-css](#)
初公開日 : 2006-04-05 15:00 [2006-1631](#)
バージョン 1.0 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Hyper Text Transfer Protocol (HTTP) 圧縮のために設定される Cisco CSS 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチは有効なを処理するときだが、サービス拒絶 (DoS) 攻撃に脆弱、または特別に 巧妙に細工された HTTP 要求 廃止 します。

シスコでは、該当するお客様用に、この脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。回避策は HTTP 圧縮をディセーブルにすることです。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20060405-css> で 掲示 されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco CSS 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチは HTTP 圧縮のために設定される脆弱です。

HTTP 圧縮のために設定される Cisco CSS11500 に `show running-config` コマンドの発行によって見られる場合がある次と同じような設定があります:

```
service compression_service_name
....
....
compress enable
....
....
```

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco CSS 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチは HTTP 圧縮のために設定されない脆弱性ではありません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2006-April-05	初回公開リリース
--------------	---------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。